

函館24 まちあるきマップ

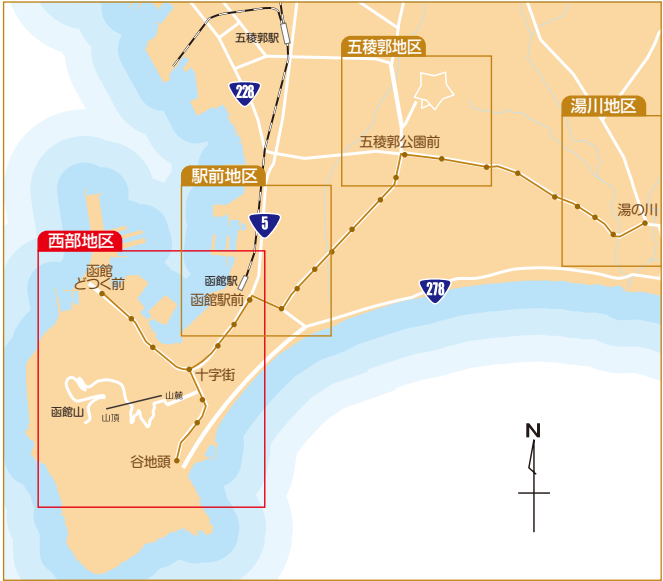
近代の函館を想う ～谷地頭から函館公園まで～

所要時間 80分 距離 2.3Km 消費カロリー 210kcal

- 函館市青少年研修センター ふるる函館(旧市立谷地頭小学校跡)
- 碧血碑
- 函館公園
- 北海道最古の博物館施設
- 白川橋
- 孟宗竹の北限
- 日本最古の観覧車
- 上水道開設記念噴水塔



函館全体エリアマップ



西部地区



スタート地点までのアクセス
 JR函館駅から2.8km(徒歩45分)
 市電(函館駅前より谷地頭行き)12分

函館 知ってる? 知ってる?

『やちがしら』と読みます。
 明治6年(1873)に、尻沢辺町の一部分が谷地頭町となり、明治14年(1881)に埋め立てが完了するまで、すり鉢状の低湿地帯でした。

“谷地頭”の由来については、ふたつの説があり、ひとつは文字通り谷地の頭で、平坦部は低湿地でその周辺が乾燥した高台だったという説、もうひとつは、底にあたる低湿地の部分に沼があり、その形が頭に見えるからという説です。



函館市電路線図

湯の川～十字街間は6分間隔で運転しています。

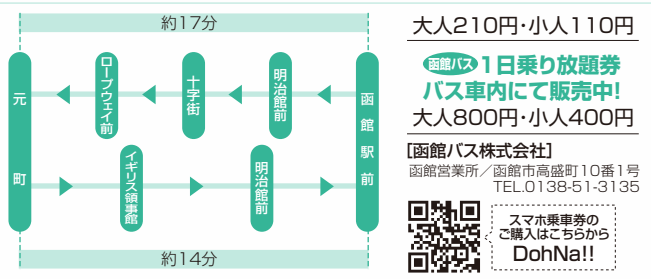
7分	5～6分	16～17分	15～16分
函館山頂前	大町	魚市場通	湯の川
谷地頭	末広町	市役所前	中央病院前
	十字街	函館駅前	五稜郭公園前
	青柳町	松風町	杉並町
	宝来町	新川町	柏木町
		千歳町	深堀町
		昭和橋	競馬場前
		堀川町	駒場前
		千代台	函館アリーナ前
			湯の川温泉
7～8分			

乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など 各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な! 市電1日乗車券販売中! 大人600円・小人300円
 お求めは車内のほか、沿線のコンビニ、ホテルなどでどうぞ!

【函館市企業局】 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012100939/>
 ケータイから各電停の時刻表も見られる!

「元町・ベイエリア周遊号」元町観光にとっても便利な循環バス(バス停は主な停留所を記載)



函館市公式
 観光情報サイト“はこぶら”
<https://www.hakobura.jp/>

フェスティバルタウンはこだてサイト
 函館イベントガイド
<https://event.hakobura.jp/>

発行・お問合せ先
函館市観光部 〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
 TEL.0138-21-3383

1 函館市青少年研修センター
ふるる函館
(旧市立谷地頭小学校跡)



北海道最古の木造小学校「谷地頭小学校」があった。解体された当時の校舎を模して、函館市青少年研修センター ふるる函館が建てられた。

2 碧血碑



旧幕府軍兵士の七回忌にあたる明治8年(1875)に建てられた。この碑は、明治初期の産業近代化の指導者である大鳥圭介のほか榎本武揚らが資金を出し、伊豆産の石を使って東京霊岸島で碑を造らせ船で運ばせた。碑の題字は、大鳥圭介の書と言われ、碧血とは「義に殉じて流した武人の血は三年たつと碧色になる」という中国の故事からとられたもの。

3 函館公園

明治12年(1879)に開園した日本初の官民パートナーシップ方式により造成された和洋式の都市公園。園内には、北海道の有形文化財である旧函館博物館1号・2号、日本最古の観覧車、北海道初の洋式アーチ橋、上水道完成記念の噴水塔、孟宗竹の竹林がある。また、春には桜の名所として市民に親しまれている。



A 北海道最古の博物館施設の設置

市立函館博物館は、明治12年(1879)開拓使函館支庁仮博物場の開場に始まり、函館県博物場第二博物場、明治24年(1891)の水産陳列場会場を経て、昭和23年(1948)に総合博物館として設置された。



B 白川橋

北海道最初の石造り洋式アーチ橋。



C 孟宗竹の北限

函館公園開園時に移植された7本の竹が、現在では立派な竹林となっており孟宗竹の北限と言われている。



D 日本最古の観覧車

昭和25年(1950)に日本初として作られ、現役で動いている最古の観覧車。



E 上水道開設記念噴水塔

明治22年(1889)、上水道が完成した際にその鉄管を納入したドイツのイリス商会より記念に寄贈されたもの。現在のものはレプリカ。

近代の函館を想う ~谷地頭から函館公園まで~

所要時間 80分 距離 2.3km 消費カロリー 210kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



トイレ
多目的トイレ

函館公園内MAP

